

2021年度の目標（ゴール）

- 幕張新都心における自動運転車の社会実装に向けた課題の洗い出し（インフラ・技術・サービス）

これまでの取組み、成果、課題

【取組み】

（第1回WG）4月13日（火）

＜アジェンダ＞

- 事例紹介（国立大学法人 群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター）
（アイサンテクノロジー株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社ティアフォー）
- 自動運転車両走行環境調査について
- 今後の取組みについて

＜主な意見＞

- 2023年に予定しているJR京葉線の新駅開業を見据え、検討を進めていく。
- 今年度、幕張新都心における自動運転サービスの導入可能性を検討するため、実証実験を実施。
実証実験の実施に当たっては、市の支援予定。（補助金限度額 10,000千円、補助率 2/3）

これまでの取組み、成果、課題

(第2回WG) 5月21日 (金)

<アジェンダ>

- 自動運転実証実験イメージについて
- 自動運転車両走行環境適正調査について
- 意見交換

<主な意見>

- 都市部において、自動運転を実現するためには安全を担保することが重要となる。
- 自治体を中心にインフラ整備が実施されることを期待している。
- 事業継続のためには、採算面と政策面が重要で、幕張新都心の最適化を考えていく必要がある。
- 深夜夜間の自動運転バスサービスや、マリスタジアムでの試合前後の渋滞を考慮した専用レーンによる自動運転サービスなどを期待している。
- 自動運転の採算性が不透明。社会実装に向けて、インフラ整備やビジネスモデルの構築が必要である。

これまでの取組み、成果、課題

(第3回WG) 9月 (書面開催)

<アジェンダ>

- 自動運転実証実験の公募のお知らせ
- 意見交換

<主な意見>

- 特段意見なし

これまでの取り組み、成果、課題

【成果】

- 自動運転サービスの導入には、インフラ整備が必要不可欠であり、改めてその進捗を期待されていることを認識した。
- 幕張新都心での本格的な社会実装には、ハード面、ソフト面ともにまだ相当な時間を要するため、課題の洗い出しや実現可能なコース選定の検討を進める。
- 今年度の実証実験イメージを会員間で共有した。

【課題】

- 自動運転サービスにおける各事業者の役割が明確になっていない。
- 幕張新都心における導入コストとそれに見合う効果が定量的に検証できていない。

【今後の進め方】

- 自動運転サービスにおける役割を洗い出し、社会実装に向けたビジネスモデル構築を検討する。
- 引き続き、導入可能なルートを検討し、実証を通じて効果検証する。